

## 産業保健における労働者のプライバシーと個人情報の取扱い

---

永野 千景：産業医科大学 産業保健管理学研究室 講師  
堀江 正知：産業医科大学 産業保健管理学研究室 教授  
森口 修逸：株式会社エム・ピー・オー 代表取締役

### 目次

#### I. 労働安全衛生法に基づく健康情報の取扱い

1. 労働安全衛生法に基づく健康情報の利用
  - 1) 労働衛生における結核健康診断
  - 2) 労働衛生における循環器疾患の予防
  - 3) 労働者の受診義務
  - 4) 事業者による健康診断結果の利用
  - 5) 事業者による面接指導結果の利用
  - 6) 健康保険組合による健康診断結果の利用
2. 労働安全衛生法に基づく健康情報の保護
  - 1) 法定健康診断に関する守秘義務
  - 2) 個人情報保護に関する労働衛生行政指針

#### II. 個人情報保護の法令

1. 一人で放っておいてもらう権利
2. 旧 OECD プライバシーガイドライン
3. EU データ保護指令
4. 個人情報保護法
5. 新 OECD プライバシーガイドライン
6. EU 一般データ保護規則 (GDPR)
7. 平成 27 年改正法
8. 令和 2 年改正法
  - 1) 3 年ごと見直し
  - 2) 個人情報保護制度の精緻化

9. 個人情報保護法関連ガイドライン
  - 1) 仮名加工情報
  - 2) 個人関連情報（メタデータ）
  - 3) 個人情報保護委員会への報告義務
  - 4) 不適正な利用
  - 5) プロファイリング
  - 6) 適用除外
  - 7) 医療介護事業者ガイダンス
  - 8) 健康保険組合ガイダンス
10. 令和3年改正法
  - 1) デジタル社会形成整備法
  - 2) 官民一元化
  - 3) 学術研究適用除外の見直し
11. プライバシー及び個人情報保護法制の経緯

### Ⅲ. 個人情報保護の規格

1. プライバシーマーク（P マーク）
2. 情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）
3. ISMS の実際
4. 最高プライバシー責任者（CPO）とデータ保護責任者（DPO）

### Ⅳ. 産業保健分野における個人情報の取扱い

1. 国際標準としての職場における健康情報の取扱い
2. 職場における健康情報の不適切な取扱い
3. 職場における健康情報の安全管理措置（セキュリティ対策）
4. 職場における健康情報の取扱いにおける本人同意
5. 職場で健康情報を取り扱う目的
6. 職場における健康情報の取扱いに関する規程の整備
7. 健康情報のうち仮名加工情報や匿名加工情報の取扱い
8. 個別事例での健康情報の取扱い
9. デジタル化に向けた課題